

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年	
42001	X-31-B-1-420011	2	後期	【1年次生】国際学部国際文化学科	×	×	×	
				【1年次生】国際学部国際文化学科英語集中コース				
授業科目	担当教員			【2年次生以上】国際学部国際文化学科	×	×	×	×
				【2年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	×	×	×	×
経営情報論	小宮山 智志			【1年次生】経営情報学部経営学科	専門	必修	1年	
				【1年次生】経営情報学部情報システム学科	専門	必修	1年	
				【3年次生以上】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×	
		【3年次生以上】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×			

授業目的

この講義では“情報”を“マネージメント（経営）”することを学びます。マネージメントとはヒト・モノ・カネ・時間、そして“情報”を配分し、目的に応じて運営することです。どんどんと発展していく“情報化社会”ではモノの生産よりも“情報”の生産の価値が増えていきます。さらに“情報”を生産するために、すでに蓄えた“情報”をいかに配分するか、日々進化し続けています。この授業ではこの“進化”を問い続け、さらに今後の“進化”を考えていきます（すでに到達したので“化”をつけずに「情報社会」と呼ぶこともあります。しかしこれからの変化は、いままでの変化の比ではありません。あえて“情報化社会”と呼びます）。

講義は（1）事例を紹介し、それをどのように社会で活かしていくか、個人またはグループで考えます。そして（2）皆さんから上げられたアイデアを紹介し、さらに考えを深めていきます。授業終了後、毎回、振り返りアンケートを実施し、その解析も講義の中でを行い、“経営情報”の中心的な部分、ビッグデータの活用の理解を進めます。このように講義は（1）・（2）の2回セットで学んでいきます。

人工知能・ビッグデータ・拡張現実・仮想現実・IoT・クラウドなどの方法を複数組み合わせ駆使した事例を取り上げていく予定です。またSF映画やアニメーションの映像も交えて紹介していきます。

*常に進化し続ける分野であり、取り上げる事例は変化します。そのため以下の授業の順番も適宜、変化します。

各回毎の授業内容

第1回

【授】経営情報論とは（この講義の目的と射程）
【前・後】【必要な時間：4.5時間】インターネットによる振り返りのアンケートに回答してください。次回までの課題を考えてください。

第2回

【授】情報を“共有”する：日常の例で考えてみよう（1）
【前・後】【必要な時間：4.5時間】インターネットによる振り返りのアンケートに回答してください。次回までの課題を考えてください。

第3回

【授】情報を“共有”する：日常の例で考えてみよう（2）
【前・後】【必要な時間：4.5時間】インターネットによる振り返りのアンケートに回答してください。次回までの課題を考えてください。

第4回

【授】事例1：（1）紹介と活用事例考察
【前・後】【必要な時間：4.5時間】インターネットによる振り返りのアンケートに回答してください。次回までの課題を考えてください。

第5回

【授】事例1：（2）アイデアの紹介とまとめ
【前・後】【必要な時間：4.5時間】インターネットによる振り返りのアンケートに回答してください。次回までの課題を考えてください。

第6回

【授】事例2：（1）紹介と活用事例考察
【前・後】【必要な時間：4.5時間】インターネットによる振り返りのアンケートに回答してください。次回までの課題を考えてください。

第7回

【授】事例2：（2）アイデアの紹介とまとめ
【前・後】【必要な時間：4.5時間】インターネットによる振り返りのアンケートに回答してください。次回までの課題を考えてください。

第8回

【授】事例3：（1）紹介と活用事例考察
【前・後】【必要な時間：4.5時間】インターネットによる振り返りのアンケートに回答してください。次回までの課題を考えてください。

第9回

【授】事例3：（2）アイデアの紹介とまとめ
【前・後】【必要な時間：4.5時間】インターネットによる振り返りのアンケートに回答してください。次回までの課題を考えてください。

第10回

【授】事例4：（1）紹介と活用事例考察
【前・後】【必要な時間：4.5時間】インターネットによる振り返りのアンケートに回答してください。次回までの課題を考えてください。

第11回

【授】事例4：（2）アイデアの紹介とまとめ
【前・後】【必要な時間：4.5時間】インターネットによる振り返りのアンケートに回答してください。次回までの課題を考えてください。

第12回

【授】事例5：（1）紹介と活用事例考察
【前・後】【必要な時間：4.5時間】インターネットによる振り返りのアンケートに回答してください。次回までの課題を考えてください。

第13回

【授】事例5：（2）アイデアの紹介とまとめ
【前・後】【必要な時間：4.5時間】インターネットによる振り返りのアンケートに回答してください。最終レポートを執筆してください。

第14回

【授】全体のまとめ（1）
【前・後】【必要な時間：4.5時間】インターネットによる振り返りのアンケートに回答してください。最終レポートを改良してください。

第15回

【授】全体のまとめ（2）
【前・後】【必要な時間：4.5時間】インターネットによる振り返りのアンケートに回答してください。最終レポートを仕上げてください。

第16回

【授】最終レポートの提出と、公欠の方のための補講を実施（欠席分のグループワークの評価を補うことができます）。
【前・後】【必要な時間：0.1時間】インターネットにて振り返りアンケートに回答してください。

成績評価方法

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	強調・指導力	発表・表現	その他	評価割合(%)
定期試験							
小テスト・授業内レポート	5	5	5	5	5	10	25
宿題・授業外レポート	5	5	5	5	5	40	65
授業態度・授業への参加							
成果発表（口頭・実技）							
演習							
その他							

グループワークまたは個人ワーク（35%）：自分の頭（知識理解・思考判断）と他人の頭をともに活用することを学びます（協調指導力・発表表現・関心意欲）。グループで相談しますがレポートは個人で執筆します（その他：オリジナリティ）。最終レポート（65%）：オリジナリティ（その他）と論理的思考力（知識理解・思考判断）が問われます。授業内で他者からコメントを得られる機会を設けます（協調指導力・発表表現）。テーマ選びに関心意欲が関連します。

グループワークレポートは毎回、翌週に採点結果をお知らせし、全体のコメントを授業中に行います。最終レポートに関しては、事前に評価基準をお示しします。したがって上記の成績評価割合、自分のグループワークの合計点と成績から、自分のレポートが評価基準のどの程度のレベルに達したのか、わかりますが、さらに全体のコメントをポータルで送信すると共に、自分のレポートについてコメントが欲しい方には、個別に対応します。

教科書参考書

・講義内で配布します。

受講に当たっての留意事項

- 公欠の場合、第16回目の授業において個人・ワーク・グループワークを行うことで、欠席した分の個人ワーク・グループワークを補うことが出来ます。
- 授業中、私が説明しているときは、誰も話してはいけません。小声でもダメです。私が聞こえなくてもあなたの周りの人が迷惑です。個人ワーク・グループワークのときは、どんどん周りの人と話してください。友達の外なるアイデアを楽しみ、また友達を楽しませてあげてください。
- 授業中に、関係のないことを行っている、盗用・剽窃を行うなどの不正・不法行為が認められた場合、直ちに以後の出席を禁止します。

学習到達目標

- ・経営情報（“情報”を“マネージメント”する）ことを理解できる（知識理解・協調指導力）。
- ・抽象的なコンセプトを具体的な事象で説明し活用事例を考案できる（発表表現・思考判断・その他：オリジナリティ）。
- ・現代社会の中での“経営情報学の”、そして“経営情報学部（情報システム学科・経営学科）・国際学部で構成されている本学の学生である皆さんの”、可能性について考え抜く力を身に付けてください（関心意欲）。

JABEE

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習